

高知県公立大学法人

平成25年度 業務実績評価書（案）

平成26年8月

高知県公立大学法人評価委員会

第1 評価の基本的な考え方

高知県公立大学法人評価委員会は、地方独立行政法人法第28条第1項及び第2項の規定に基づき、高知県公立大学法人（以下「法人」という。）の平成25年度における業務の実績について、以下の基本的な考え方により評価を行った。

評価の実施に当たっては、法人の当該事業年度における業務の実績及び自己点検・評価を内容とする業務実績報告書及び法人への聴取等に基づき調査・分析を行うとともに、その結果を踏まえて、「項目別評価」及び「全体評価」を行う。

1 項目別評価

評価委員会は、次の事項（以下、大項目という。）ごとに、中期計画の達成に向けた業務の進捗状況を勘案して、5段階により評価するとともに、その評価理由を明らかにする。なお、教育研究については、その特性に配慮し、専門的な観点からの評価は行わず、事後の外形的な進捗状況の評価を行う。

〔大項目〕

- ①教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置
 - 1 教育の質の向上に関する目標を達成するための措置
- ②同上 2 研究の質の向上に関する目標を達成するための措置
- ③同上 3 社会貢献の質の向上に関する目標を達成するための措置
- ④業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置
- ⑤財務内容の改善に関する目標を達成するための措置
- ⑥教育及び研究並びに組織及び運営の状況についての自己点検及び評価並びに当該状況に係る情報提供に関する目標を達成するための措置
- ⑦その他業務運営に関する重要事項を達成するための措置

〔5段階〕

- 5：中期計画の達成に向け特筆すべき進捗状況である。
- 4：中期計画の達成に向け順調に進捗している。
- 3：中期計画の達成に向けおおむね順調に進捗している。
- 2：中期計画の達成に向け進捗がやや遅れている。
- 1：中期計画の達成に向け進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

2 全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、当該事業年度における業務実績の全体について、記述式により総合的な評価を行う。また、必要がある場合は、法人に対する業務運営の改善その他の勧告事項を記載する。

高知県公立大学法人評価委員会委員

区分	氏名	役職名
委員長	宮田 速雄	株式会社高知新聞社 代表取締役社長
委員	森下 勝彦	株式会社高知銀行 取締役頭取
委員	木村 靖二	独立行政法人大学評価・学位授与機構参与
委員	寺田 覚	公認会計士・税理士
委員	船橋 英夫	高知工業高等専門学校 校長

第2 評価の結果

1 全体評価

高知県立大学と高知短期大学は、大学の自主性・自律性を高め、社会が求める教育・研究の高度化に対応するとともに、大学の個性化を進め、もって大学の社会への貢献を促進することや、大学運営の効率化や第三者評価に基づく運営の改善を進め、県民と社会に対する説明責任を果たすため、公立大学法人に移行している。

平成25年度は、公立大学法人となってから3年目であり、前年度に引き続き、理事長（学長）のリーダーシップの下、教育、研究及び社会貢献に関する戦略的な取り組みを進めるとともに、業務運営の改善及び効率化についても、法人全体で推進している。

特筆すべき成果としては、まちづくりや地域おこしなど地域貢献を目的として学生が取り組む「立志社中プロジェクト」に対し支援を行い、兵庫県などが主催する「ぼうさい甲子園」の大学部門で大賞を受賞するなど、着実な成果をあげていること、国内初の国公立5大学による共同災害看護学専攻（5年一貫博士課程）を開講するにあたり、中心となって多くの課題を解決し実現させたことなどが挙げられる。

その他の項目についても、年度計画を十分に実施していると認められ、全体として、中期計画の目標達成が期待されるものである。

2 項目別評価

①教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 1 教育の質の向上に関する目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向け順調に推移している
--	----	-----------------------

○実施状況の概要及び評価

まちづくりや地域おこしなど地域貢献を目的として、学生グループが主体的に行う取り組みに対し「立志社中プロジェクト」
として活動支援を6団体に対して行った。立志社中プロジェクトに採択された「イケあい地域災害学生ボランティアセンター」
においては、兵庫県などが主催する「平成25年度ぼうさい甲子園」において、大賞を受賞している。

国内では初となる国公立5大学による共同災害看護学専攻（5年一貫博士課程）を平成26年4月に開講するにあたり、各

大学が遠隔地にあるうえ、設置形態、教育制度等異なる中、高知県立大学内に置くプログラム管理センターが5大学の教員と事務職員の取りまとめの組織としてリーダーシップを発揮し開講に向けた準備を整えている。

共通教養教育科目に対する学生のニーズ調査実施、また、単位の実質化を促進する方法としてCAP制度、GPA制度の導入など、学士課程における教育環境の改善を行っている。

看護学部、社会福祉学部において、到達度調査、卒業前調査などを行い、その結果を共有し、講義・実習に反映させるとともに、昨年度明らかにした課題を実習施設と共有し、実習教育の改善・充実に取り組んでいる。

平成27年度からの文化学部のカリキュラムについて検討を行い、言語文化系、地域文化創造系、文化総合系を中心とする新カリキュラムを編成している。

その他、学生の心身の健康の保持・増進のため、全学生を対象にUPI調査を実施し、一定以上の数値を示した学生に対して個別面談を実施することで、早期発見・早期解決に努めているなど、全体として計画どおり順調に進捗していると評価できる。

②教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向け順調に推移している
2 研究の質の向上に関する目標を達成するための措置		

○実施状況の概要及び評価

職位に対する逆傾斜配分の実施を行い、若手研究者の育成を全学的に実施し、研究力の向上を図っている。

高知県立大学の健康長寿センターでは土佐市との連携事業やインターネットでの「とこずれ相談」などを実施している。

各学部・研究科において、年度初期に目標を定め、研究発表等研究成果の発信、学会の参加等、研究員の受入れを行うなど、研究活動の充実に努めている。

高知短期大学では、地域への還元として、本山町の「まちかつP.J」に参画し、地域課題の抽出・政策提言を実施している。

その他、研究促進委員会等を組織し、研究水準の向上を図るための議論を行うとともに、相互評価を行うなど、全体として研究の質の向上に向けて着実に取り組んでいると認められることから、計画どおり順調に進捗していると評価できる。

<p>③教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置</p> <p>3 社会貢献の質の向上に関する目標を達成するための措置</p>	<p>評価</p>	<p>4：中期計画の達成に向け 順調に推移している</p>
---	-----------	-----------------------------------

○実施状況の概要及び評価

高知県内の各市町村や各地域における、さまざまな地域課題やそれに対する支援などの要望を的確に把握するための調査を行い、地域貢献ニーズ集として、また、学内の全教員を対象としたシーズ調査の結果を地域貢献シーズ集とした報告書を取りまとめ、地域貢献を的確に行うことができる仕組み作りを行っている。

地域との合同災害訓練については、高知医療センター災害対策委員会と協働して検討し、平成24年度に作成したマニュアルに基づき訓練を実施している。

地域活性化フォーラムや地域医療フォーラム、健康長寿体験型セミナーなど、地域のニーズにあった講演会等を実施するなど、地域ニーズに応じた事業を実施している地域ニーズに応じた事業を幅広く実施している。

高知県立大学の健康長寿センターでは、土佐市との連携事業やインターネットでの「とこずれ相談」などを実施している。

留学生を確保するため、広報冊子の作成や日本語学校訪問など周知活動を図り、2名の正規留学生を確保するなど、全体として、計画どおり順調に進捗していると評価できる。

<p>④業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置</p>	<p>評価</p>	<p>4：中期計画の達成に向け 順調に推移している</p>
--------------------------------------	-----------	-----------------------------------

○実施状況の概要及び評価

~~広く外部の意見を法人経営及び大学運営に反映するために、学外有識者を理事及び経営審議会委員に登用している。~~

職員の努力や成果を適正に評価するため、教員評価制度を平成25年度から試行している。

~~2つのキャンパスの事務室の業務量を把握し、適正な人員配置を含め、平成26年度の事務分掌の見直しを行うとともに、過重負担にならないよう、業務の振り分けを行っている。~~

関係機関の実施する研修や、法人独自の研修に積極的に参加を促し、特に新任1年目から2年目の一般職員の研修については積極的に参加するよう促している。

その他、法人統合や永国寺キャンパスの整備を踏まえての業務支援システム及び学内ネットワークなどの検討を行うなど、全体として計画どおり進捗していると評価できる。

⑤財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向け順調に推移している
--------------------------	----	-----------------------

○実施状況の概要及び評価

競争的研究資金の公募情報の周知方法を見直し、科学研究費助成事業については目標値の設定及び、説明会の開催など、積極的に取り組んだ結果、応募件数は58件となり、応募可能な教員の7割以上が応募につながっている。

空調機器の保守点検を重点的に実施し、消費電力の削減を図るとともに、空調監視システムの整備により節電と効率的な管理体制を構築している。

施設の予約状況等を事務局全体で随時把握できる体制とし、教育研究等に支障をきたさない範囲で、学外者に貸し出しを行うことにより、施設の有効利用を行っている。

その他、予算執行状況を定期的に調査し、計画的、効率的な予算執行を行うなど、全体として、計画どおり順調に進捗していると評価できる。

⑥教育・研究及び組織運営に関する自己点検・評価並びに情報提供に関する目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向け順調に推移している
--	----	-----------------------

○実施状況の概要及び評価

年度計画の進捗状況及び中期計画の進行状況を把握するため、進捗管理シートによる管理を行っている。また、定期的に集約し、業務実績報告書に取りまとめるなど、法人の自己点検・評価の実施と計画的な業務運営に努めている。

平成27年度に大学基準協会を認証評価機関として受審することを決定し、同協会から講師を招聘し全教職員を対象とする研修会を実施するなど、準備を行っている。

大学の広報体制の現状分析を行うために、広報担当者の業務量の実績を集計し、業務内容と業務量を把握し、実施体制案を作

成している。

その他、個人情報保護方針に基づき、個人情報の適切な管理を行うなど、全体として、計画どおり順調に進捗していると評価できる。

⑦その他業務運営に関する重要事項を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向け順調に推移している
----------------------------	----	-----------------------

○実施状況の概要及び評価

教職員、学生、地域住民が参加した防災訓練をはじめ、津波避難訓練、消火訓練を実施し、学内の危機管理体制の充実強化を図っている。

学生の危機管理に関する能力を培うために、警察の協力を得て、交通安全の講習や防犯講習、デートDV防止講座などを実施している。

~~研究を適切に行うため、研究倫理指針を定め、研究が適正に推進されるよう徹底している。~~

その他、平成27年4月の法人統合に向けて各種協議を行うとともに、文化学部の拡充や高知短期大学の発展的解消に向けて準備を行うなど、全体として計画どおり順調に進捗していると評価できる。

3 組織、業務運営等に係る改善事項等

特に改善勧告を要する事項はない。